

リリースノート：Dominion[®] KX III & IV ユーザーステーション（バージョン 4.1）

日付：2019年10月

サポート対象のユーザーステーション：DKX3-UST, DKX4-UST

サポート対象の Dominion KX:

DKX3-108, DKX3-116, DKX3-132, DKX3-216, DKX3-232,
DKX3-416, DKX3-432, DKX3-464, DKX3-808, DKX3-832, DKX3-864
DKX2-101-V2（2019年6月販売終了）
DKX4-101

互換性の情報:

- バージョン 4.1 へアップグレードするためには、対象のユーザーステーションでバージョン 4.0.0 が動作している必要があります。
- 接続対象となる Dominion KX III のファームウェアは、リリース 3.2 以降である必要があります。
- CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) と連携するためには、CC-SG のファームウェアが 7.0 もしくは 8.0 である必要があります。

ユーザーステーションの概要

Dominion KX III および IV ユーザーステーションは、KX III および KX IV KVM-over-IP スイッチに接続されたリモートサーバーおよびワークステーションへの高性能 IP アクセスをユーザーに提供するアプライアンス製品です。また、オプション機能として、CommandCenter 連携機能も用意されており、複数の KVM スイッチを介した操作が可能です。

CommandCenter 連携による KVM 以外のアクセス方法:

VMware 仮想マシン、簡易 Web ブラウザー接続、RDP、VNC、SSH

研究室やスタジオ、制御室、オフィス、データセンター等での利用が想定されており、III および IV のいずれのユーザーステーションも標準の Cat5/6 ケーブルとイーサネット/IP ネットワークを使用し、簡単に導入できます。ユーザーステーションには、高性能かつ利便性に富んだデスクトップユーザーインターフェイスが用意されており、1~3 台のモニターで複数の KVM-over-IP セッションをサポートしているため、ユーザーは 8 台以上のサーバーに同時にアクセスして、表示・制御が可能です。

Dominion KX IV ユーザーステーションは、KX III ユーザーステーションより高性能な新しいハードウェアです。KX III/KX IV に接続されたターゲットサーバーおよびワークステーションへの快適なリモートアクセスをユーザーに提供し、オプション機能で CommandCenter と連携が可能です。また、KX IV ユーザーステーションは、KX III よりハードウェアが高性能である事に加え、DKX4-101 のサポート、4K ビデオのサポート、快適かつ複数の KVM-over-IP セッション、最大 3 台のモニター接続をサポートします。

ファームウェアの概要

リリース 4.0.1 のアップデートであるリリース 4.1 は、以下でご案内する Dominion KX III および IV ユーザーステーションの機能と、以前のユーザーステーションの全ての機能をサポートしています。詳細は、以下をご覧ください。

Dominion KX ユーザーステーション リリース 4.1 の新機能

- ・ **複数のユーザーステーション間でのキーボードとマウスの共有 (※1)** ユーザーはキーボードとマウスを共有できるようになりました。複数の KX ユーザーステーション間で、2 つ以上のユーザーステーションに接続されたモニターの間でマウスカーソルの移動が可能です。1 人のユーザーが、1 つのキーボードとマウスを使用して、4 台 (2 台の DKX3-UST にモニターを 2 台ずつ接続)、6 台 (2 台の DKX4-UST にモニターを 3 台ずつ接続)、9 台 (3 台の DKX4-UST にモニターを 3 台ずつ接続) のモニターを利用することが可能です。(KVM ウィンドウの移動はできません)
- ・ **複数言語のサポート** 英語の他に、日本語、中国語、ドイツ語による表示をサポートしました。
- ・ **新製品 Dominion USB-C CIM 対応** USB-C に接続可能な Dominion KX III 用の CIM をサポートしました。※Type に「VM-USBC」と表示
- ・ **クラスタリング構成の CC-SG に対応** クラスタリング構成の CC-SG をサポートし、ユーザーステーションは自動でプライマリ/セカンダリの CC-SG へ接続します。
- ・ **KVM ウィンドウドラッグ機能** KVM ウィンドウを 2 つのユーザーステーション間でシームレスに移動可能になりました。(※1 のように 1 つの UST に複数のモニターを接続した環境では利用不可)
- ・ **複数のウィンドウレイアウト削除機能** 保存されたウィンドウレイアウトを複数選択して削除可能になりました。
- ・ **ターゲットタイプのフィルタ機能** Port Navigator を使用して、KVM、VNC、RDP、SSH、WEB、ESXi といった各ターゲットタイプのフィルタ (表示/非表示) が可能となりました。
- ・ **「Open Port Settings」メニューを追加** Port Navigator のターゲットメニューの中にポート設定を呼び出す新メニューが追加されました。
- ・ **ターゲットサーバー上での「Alt + ドラッグ」操作** ターゲットサーバー上で「Alt + ドラッグ」操作を行なう場合、Window Management Hotkeys and Gestures の中でこの Hotkey を無効に設定できるようになりました。
- ・ **その他修正、セキュリティアップデート、機能強化/拡張、ドキュメントの更新が含まれます。**

※ドキュメントは、KX III/KX IV 両方のユーザーステーションの情報を 1 つに集約したものになります。

ドキュメント

Dominion KX III/KX IV ユーザーステーションに関する以下のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

- **Dominion KX ユーザーステーションガイド**

—ユーザーステーションのユーザーおよび管理者機能に関するドキュメントです。

- **Dominion KX ユーザーステーションクイックセットアップガイド**

—ユーザーステーションの初期セットアップについて記載したドキュメントです。

ユーザーステーションのドキュメントは、ラリタンの Web サイト (<http://www.raritan.com/>) からダウンロードできます。サポートページの「製品を選択してください」のプルダウンメニューから「Dominion KX III ユーザーステーション」を選択すると、ドキュメントがリリースごとに表示されますので、ご希望のリリースをクリックしてください。

オンラインヘルプ ※英語のみ

ユーザーステーションは、[Main Menu]->[Help]->[User Manual]からオンラインヘルプを呼び出すことができます（要インターネット接続）。[Contents]、[Index]、[Search]の各項目を利用して、適切なトピックを参照することが可能で、テキストや画像を用いたユーザーステーションの全容をご参照いただけます。また、このガイドには関連事項へのリンクが多数用意されています。

ラリタンの Web サイトでは、「サポート」セクションからオンラインヘルプをご利用いただくことも可能です。

互換性情報

1. リリース 4.1 にアップグレードするためには、ご使用中のユーザーステーションがリリース 4.0.0 以降である必要があります。
2. リリース 4.1 は、以下の KVM-over-IP スイッチへ接続可能です。
 - 1) Dominion KX IV-101 リリース 4.0 以降
 - 2) Dominion KX III リリース 3.2 以降
3. ユーザーステーションは、Dominion KX, KX II, LX, LX II（発売予定）、KSX II には対応していません。
4. ユーザーステーションは、ラリタンが提供する CommandCenter Secure Gateway 7.0 および 8.0 と連携可能です。

留意事項および重要な情報

ユーザーステーションに関する重要な情報につきまして、以下をご参照ください。

- 1. CC-SG 連携** このリリースでユーザーステーションは CC-SG 8.0 と連携します。
 - a. 現時点では、CC-SG の全てのインターフェースがサポートされているわけではありません。Dominion KX III、KX2-101-V2、VMware 仮想マシンへの接続、RDP、VNC、SSH ノードがサポートされています。
 - b. CC-SG の Proxy Mode は、VNC、RDP、SSH インターフェースをサポートしていません。VNC、RDP、SSH に対する接続は、CC-SG のログに記録されません。
 - c. CC-SG との連携にあたっては、Port Scanner 等が利用できません。詳細はユーザーステーションのドキュメントご参照いただくか、サポート窓口へお問い合わせください。なお、これらの制限は、今後のリリースで取り除かれる可能性がございます。

※「クラスタ構成の CC-SG との連携」は、このリリース 4.1 からサポートされます。
- 2. Ultra HD 4K ビデオ** 4K ビデオは、HD ビデオ (1080p) の 4 倍のピクセル情報を持っています。快適な映像パフォーマンスを得るためには、新しい KX IV ユーザーステーション (DKX4-UST) を使用してください。KX III ユーザーステーションにて 4K ビデオ環境を利用する際には、HDMI 接続ではなく Display Port を使用してモニターと接続してください。
- 3. ユーザーステーションの Web ブラウザアクセス** この機能は、ユーザーステーションのリモートコントロールや Dominion KX III や KX IV などのデバイス管理用の簡易インターフェースです。そのため、証明書の確認やファイルのダウンロード/アップロード、オーディオ、ビデオ、Java、プラグイン、ポップアップなど、最新の Web ブラウザが備えている多くの機能がサポートされていません。また、この機能は、初期状態で無効になっており、有効にするためには管理者権限が必要となります。詳細につきましては、ドキュメントをご確認ください。
- 4. VNC/RDP/SSH 接続** RDP もしくは SSH で接続している場合、Port Navigator では接続中を表す強調表示 (太字) をしません。また、RDP と SSH 両方のインターフェースを持つターゲットは、「open in current」および「close」メニューを表示しません (VNC 接続は表示します)。なお、RDP 接続のターゲットに認証情報が設定されていない場合、Port Navigator から選択しても RDP ウィンドウは起動しません。
- 5. Port Scanner** セカンダリモニター上で Port Scanner を長時間実行していた場合、一時的に停止してしまう既知問題があります。対処としては、一旦 Port Scanner を閉じて再実行するか、[Pause] ボタンを押してから [Resume] ボタンを押す必要があります。こちらは制限事項とさせていただきます。
- 6. 管理者用初期パスワード** セキュリティの観点から、初期パスワードからの変更を推奨します。

7. **2種類のユーザー認証** ユーザーステーションでは、(a)ユーザーステーションにログインする認証（ログインユーザー/パスワード）と(b)Dominion KX III にアクセスするための認証が使われます。

(a)ユーザーステーションにアクセスするためには、ユーザーステーションの認証が必要であり、また認証情報によってユーザーステーションの管理機能へのアクセス権限が割り当てられます。これらの認証情報は、ユーザーステーションの管理者によって作成されます。

(b)Dominion KX III の認証情報は、KVM スイッチに接続されているサーバーへの接続可否が判定され、仮想メディアやリモート電源制御といった付加機能の割り当てを行いません。

CC-SG と連携する場合、ユーザーステーションへの認証と KVM スイッチの認証は使用されず、CC-SG の認証情報が利用されます。この場合、ユーザーステーションで認証情報を設定する必要はありません。

なお、LDAP のシングルサインオンを利用している場合、LDAP が KX III の認証情報として利用されません。

8. **ユーザー毎の認証情報** Dominion KX III のユーザー認証情報は、ユーザー毎に保存されます。CC-SG や LDAP のシングルサインオンを利用する場合を除き、ユーザーは使用する KVM スイッチ毎に各々のユーザー認証情報を入力・保存する必要があります。

9. **FIPS 140-2 モード** FIPS 140-2 暗号モジュールを利用する場合、以下の制限事項があります。

- a. KX III スイッチのターゲットに接続するためには、FIPS 対応の現行の Windows OS 等や KX III のルート証明書をインストールしたユーザーステーションが必要です。
- b. 暗号化された LDAP 接続である LDAPS を利用する環境では、FIPS 140-2 暗号モジュールを使うことはできません。
- c. TLSv1.2 を使用する環境で FIPS 140-2 暗号モジュールが有効になっている場合、KX III のターゲットに接続することはできません。

10. **ユーザーブロック機能** KX III の「ユーザーブロック」機能が有効である状態で、ユーザーステーションから誤ったユーザー認証情報を複数回入力すると、その KX III に対するアクセスが自動的にブロックされます。これを解除するためには、KX III の管理者にお問い合わせください。

11. **ユーザーステーションの停止手順** ユーザーステーションを停止する場合は、[Leave]->[Shut Down]を実行してください。ユーザーステーションが起動状態での電源ボタン押下、もしくは電源プラグを抜いてしまった場合、データベースが破損することがあります。

12. **ビデオ機能に関する留意事項** KX III ユーザーステーションには3つのディスプレイポートが用意されていますが、同時に接続できるモニターは2つまでです。DisplayPort や HDMI は、映像と音声の両方の信号を利用できますが、音声を利用する場合はご利用のモニターが音声出力に対応している必要があります。また、デュアルモニターにも対応しています。

KX IV ユーザーステーションは、3つのモニターを使用する事が可能です。

13. **音声に関する留意事項** KVM クライアントの Audio Device 接続設定で[Automatically Connect at Startup]を有効にしていない場合、ターゲットに接続後、手動で接続を行なう必要があります。

14. **ネットワークに関する留意事項** ユーザーステーションのデフォルトのネットワーク設定は、[Automatic (DHCP)]です。静的アドレスを利用する場合は、Dominion KX III の設定より先にネットワーク設定を実施してください。また、Dominion KX III の HTTPS および Discovery (検出ポート) の TCP ポートの設定を初期値から変更しないでください。

15. **デュアル LAN ポート** ユーザーステーションの2つの LAN ポートは、同じサブネットにも異なるサブネットにも接続可能です。ユーザーステーションの電源を入れた時、もしくは再起動した時に両方の LAN ポートがネットワークに接続されていますと、ユーザーステーションはいずれかのネットワーク接続をデフォルトとして選択します。ただし、いずれか、または両方の接続のネットワーク設定を変更した場合、直近で変更されたネットワークが自動的にデフォルトの接続となります。

(注) デフォルトの接続は[Connection Information]ダイアログで確認できます。

(注) 同一 IP アドレスを用いた冗長構成はサポートされておりません。

16. **Ctrl+Alt+Del** ユーザーステーションで使用しているキーボードで Ctrl+Alt+Del キーを入力してもターゲットには送信されません。デフォルトではユーザーステーションのシャットダウン、もしくは再起動を実行するダイアログが表示されます。このキーシーケンスをターゲットへ送るためには、ターゲットのウィンドウを開いているときに[Send Ctrl+Alt+Del]ボタンを押下するか、ユーザーステーションの[Hotkeys]の設定を変更する必要があります。

17. **仮想メディア** ターゲットサーバーに接続された仮想メディアを切断する際は、「安全な取り外し」または「イジェクト」を実行する事をお勧めします。[Read/Write] (読み取り/書き込み可能) モードが有効の状態での手順を実施せずに仮想メディアを切断した場合、データの損失の恐れがあります。

18. **ファームウェアのダウングレード** ファームウェアのダウングレードはできません。ダウングレードが必要な場合は、テクニカルサポート窓口までご相談ください。

なお、ファームウェアのアップグレードを行なう場合は、ユーザーステーションのバックアップを取る事を強く推奨します。また、アップグレード中にユーザーステーションの電源は絶対に切らないでください。

19. **KVM のティア構成とブレードサーバーへの接続** 現行のユーザーステーションは、Dominion KX III のティア構成 (ティアスイッチへ直接 IP 接続する事は可能) とブレードサーバーへの接続をサポートしていません。

20. **シリアルポート** ユーザーステーションには運用管理向けのシリアルポートを用意していません。

21. **オンラインヘルプ** オンラインヘルプをユーザーステーションから表示した場合、[email this page], [send feedback], [print this page] の各ボタンは利用できません。これらのボタンを利用したい場合は、インターネット環境に接続された PC 等の Web ブラウザから操作してください。

ファームウェアアップグレード

注意：リリース 4.1 へアップグレードするためには、対象のユーザーステーションでリリース 4.0.0 以降が動作している必要があります。

ラリタンは、ソフトウェアの強化、新機能、修正を含む新しいファームウェアを提供します。これらのアップグレードは、ラリタンの Web サイト (<https://www.raritan.com/jp/>) から入手可能です。

- 1) 「サポート」 > 「製品を選択してください」 から「Dominion ユーザーステーション」を選択してください。
- 2) 新しいファームウェアリリースのエントリをクリックして、ファイルをダウンロードします。
- 3) アップグレードを実施する前に、必ずリリースノートをご確認ください。
- 4) ファームウェアのアップグレード手順をユーザーステーションのオンラインヘルプで参照します。

ご質問がある場合は、アップグレードを開始する前に、ラリタンのテクニカルサポート窓口へお問い合わせください。